

TORO®

リークディテクタタンクキット  
Greensmaster® 3300 TriFlex® トラクションユニット  
モデル番号136-8545

取り付け要領

## ⚠ 警告

カリフォルニア州

第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる  
化学物質が含まれているとされております。

## 取り付け

1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

## 手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. バッテリーの接続を外す；マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

2

## リークディテクタのタンクを取り外す

必要なパーツはありません。

## 手順

## ⚠ 警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

- 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷や変形がないか接続部が確実に締まっているかを確認する。
- 油圧のピンホールリリークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。
- 万一、油圧オイルが体内に入ったら、直ちに専門医の治療を受けてください。



**重要**ここで接続を外した油圧オイルラインには、すべてプラグを嵌め、汚染を防止してください。

**注**外したパーツはすべて再利用します。

手順については図3を参照してください。

1. すくなくとも8リットルのオイルを回収可能な容器を、ポンプアセンブリの下に置く。
2. ポンプの吸い込み側のホースにクランプを掛け、ホースをポンプアセンブリに固定しているクランプを外す図1。

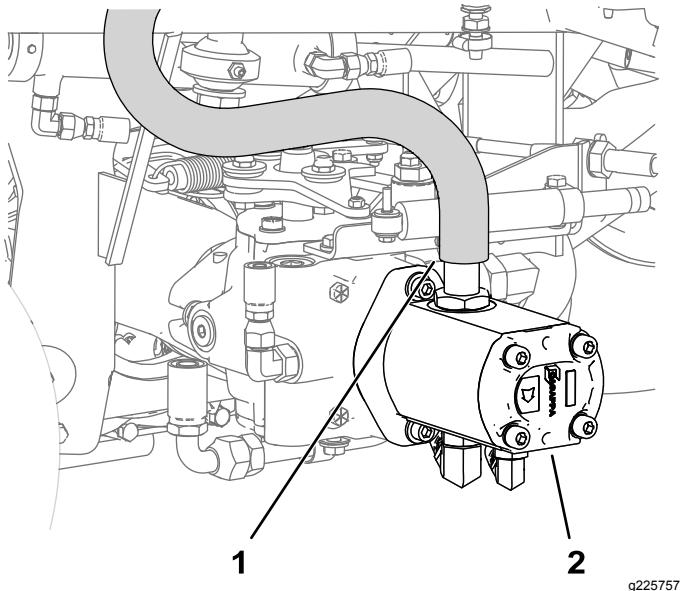


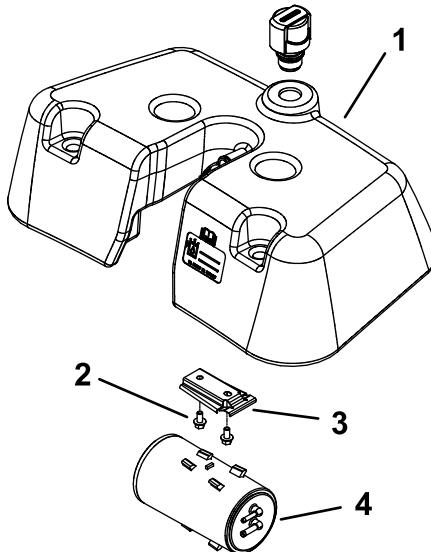
図1

9225757

1. ポンプの吸い込み側ホース 2. ポンプアセンブリ
3. クランプを掛けたホースをポンプアセンブリから外し、クランプを外して油圧オイル約8リットルを、ステップ1で準備した容器に受ける。
4. オイルを回収したら、ホースからオイルが足れないように、クランプを掛ける。
5. リークディテクタタンクを油圧オイルタンクに固定しているキャップスクリュ4本、平ワッシャ、ネオプレンワッシャ、スペーサを外す。
6. オーバーフロージャンクションとディテクタタンクのバーブ部分を十分にきれいにする。ホースのクランプをゆるめ、ディテクタタンクのバーブ部分からオーバーフロー ホースを外す。
7. リークディテクタタンクを少し持ち上げて、既存のリークディテクタタンクの下にあるバーブ付きストレートフィッティングバルブホースがクランプ固定されているのクランプを外す。
8. 既存のリークディテクタタンクの下から、バーブ付きストレートフィッティングを取り外す。

9. リークディテクタタンクにカーボンキャニスタが搭載されているマシンの場合

- A. リークディテクタタンク下のカーボンキャニスタ用ブラケットからキャニスタを外す。
- B. キャニスタのブラケットから取り付けねじ2本を外し図2タンクからキャニスタ用ブラケットを取り外す。

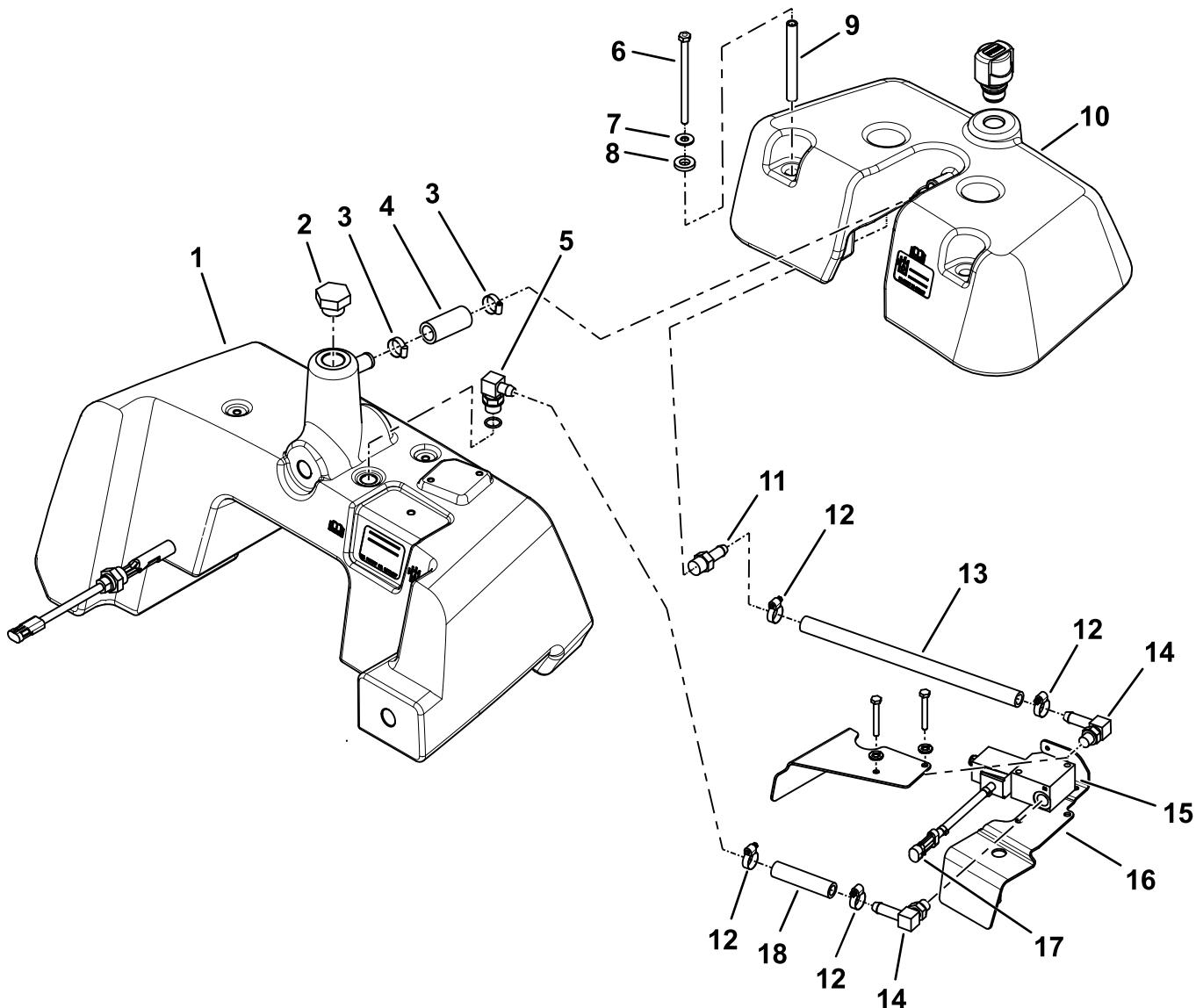


g225746

図2

1. 既存のリークディテクタタンク 3. キャニスタ用ブラケット
2. 取り付けねじ2本 4. カーボンキャニスタ

10. リークディテクタタンクアセンブリを機体から取り外す。



g225674

図 3  
油圧タンクシステム全体図 — リークディテクタタンクを取り付けた状態

- |                  |                       |                        |
|------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 油圧タンク         | 7. 平ワッシャ              | 13. バルブホース             |
| 2. プラグフィッティング    | 8. ネオプレンワッシャ          | 14. 90° エルボ油圧フィッティング2個 |
| 3. ホースクランプ2個     | 9. スペーサ               | 15. ソレノイドバルブアセンブリ      |
| 4. オーバーフロー ホース   | 10. 既存のリークディテクタタンク    | 16. カバー                |
| 5. 90° 油圧フィッティング | 11. バーブ付きストレートフィッティング | 17. ソレノイドバルブのコネクタ      |
| 6. キャップスクリュ      | 12. ホースクランプ4個         | 18. タンクホース             |

# 3

## リークディテクタタンクを取り付ける

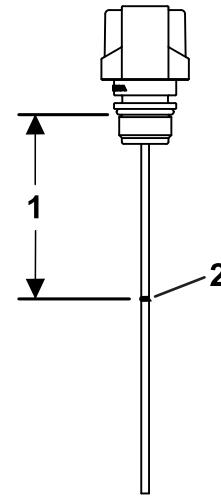
必要なパーツはありません。

### 手順

1. リークディテクタタンクにカーボンキャニスタが搭載されているマシンの場合
  - A. キャニスタブラケット図2をタンクに取り付けようねじ2本を使用する。
  - B. リークディテクタタンク下のカーボンキャニスタ用ブラケットにキャニスタを取り付ける。
2. ステップ8で外したバーブ付きストレートフィッティングに新しいOリングを、オイルで潤滑して入れる。
3. キットのリークディテクタタンクの下側に、バーブ付きストレートフィッティングを取り付け、 $2328\text{N}\cdot\text{m}$   $2.53.0\text{kg}/\text{m} = 1721\text{ft-lb}$  にトルク締めする。
4. バーブ付きストレートフィッティングにバルブホースを接続してクランプで固定する。
5. リークディテクタタンクのバーブにオーバーフロー ホースを接続してクランプで固定する。
6. リークディテクタタンクを油圧オイルタンクに固定するキャップスクリュ4本の根元部分に固着防止潤滑剤を塗る。

**重要**リークディテクタタンクをメインタンクに取り付ける時に、締め付けすぎないように注意してください。締め付けすぎるとタンクのねじ溝が破損します。

7. リークディテクタタンクをメイン油圧オイルタンクに固定するキャップスクリュ4本、スペーサ、ネオプレンワッシャ、平ワッシャを使用する。
8. キャップスクリュ  $36\text{ N}\cdot\text{m}$   $0.40.5\text{kg}\cdot\text{m} = 3050\text{inlb}$  にトルク締めする。
9. 図4のように、ディップスティックについているマーク95mmのところでディップスティックを切断し、リークディテクタタンクの口にディップスティックを取り付ける。



g224251

図4

1. 95mm

2. ここでディップスティックを  
切断

# 4

## 組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 油圧オイルタンクにオイルを戻すマシンのオペレーターズマニュアルを参照。
2. リークディテクタシステムが適切に動作することを確認するマシンのオペレーターズマニュアルを参照。
3. バッテリーを接続する; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。